

## 2023\_0809「カメムシの交尾（写真）」日々の理科 3289号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

北軽井沢にある私の山荘は、築五十年以上と古いので、あちこちにガタがきています。屋根は優秀な職人さんにふき替えてもらったので、雪にも強いし、雨もりも全くありません。しかし、どこからともなく虫どもが「無断侵入」してきます。

山小屋生活は「虫と闘い」とも言えます。一番多いのがカマドウマ、次がカメムシ類です。カマドウマは「チューパンチ」（粘着性のネズミ捕り）でほぼ一掃できます。しかしカメムシはこれにかかりません。掃除機で吸うと、排気口からすごい匂いをまき散らします。まったく厄介者です。ほかにも、ハサミムシ、ムカデ、ウシアブなどが「敵」です！

先日、新しく造った物置の壁に、カメムシが2匹とまっていました。見れば交尾をしています。種類はわかりませんが、2匹の色が微妙にちがいます。上の青っぽいのがオスで、下の赤っぽいのがメスのように見えます。このまま土にでも埋めれば、いくらかカメムシを減らせるでしょうが、このままそっとしておきました。

(2023年8月上旬／北軽井沢)

